

ACROS 10 October

アクロス福岡情報誌

2016

10

October



©R. Haughton

特集 福岡・音楽の秋フェスティバル2016



伝えたい文化の魅力 #7 「小川規三郎」

九響プレトーク #19 「荒木こずえ×高井郁花」

探検!アクロス福岡 #7 「福岡シンフォニーホールの楽器たち」



ヘルベルト・ブルムシュテット ©Martin U.K. Lengemann



エディタ・グルベロヴァ

情報誌「ACROS」10月号 2016年9月1日発行(毎月1回1日発行) 【編集発行】公益財団法人アクロス福岡 〒810-0001 福岡市中央区天神1丁目1番1号 ☎092-725-9115

2016年8月20日現在の情報です

チケット発売情報

最新のチケット発売情報は こちらのQRコードからCheck!!



アクロス福岡チケットセンター(10:00~18:00) ☎092-725-9112

好評発売中

10/1 田 17:00 アクロス・クラシックふえすた2016
10/2 田 15:00 ふえすたコンサートシリーズI

会 福岡シンフォニーホール 料 A・B公演セット券:¥1,000(全席自由)
●内容/①ふえすたガラコンサート ②九州交響楽団シンフォニックポップ
※小学生以下無料 ※②のみ未就学児入場可

10/3 田 19:00 アリス=紗良・オット ピアノリサイタル

会 福岡シンフォニーホール 料 S:¥6,000 A:¥5,000 B:¥4,000(学生席:¥3,000)
●曲目/リスト:ピアノ・ソナタ 短調 他

10/7 田 18:30 西日本オペラ協会「コンセル・ピエール」公演
オペラ「秘密の結婚」

会 福岡シンフォニーホール
料 S:¥6,000 A:¥5,000 自由席(一般:¥3,000、学生:¥2,000) ※当日各席500円増
●指揮/奥村哲也 演出/松本重孝 管弦楽/九州交響楽団 他

10/11 田 12:00 アクロス・ランチタイムコンサートvol.54《スペシャル版》
ロータス・カルテット&ペーター・ブック

会 福岡シンフォニーホール 料 全席指定:¥1,000
●チェロ/ペーター・ブック
●曲目/ベートーヴェン:弦楽五重奏のための「クロイツェル」 他

10/26 田 18:30 エディタ・グルベロヴァ主演
ブラハム国歌劇場「ノルマ」

会 福岡シンフォニーホール
料 GS:¥18,000 S:¥15,000 A:¥13,000 B:¥10,000 C:¥7,000(学生券:¥3,500)
●ペリーニ:歌劇「ノルマ」 原語上演(日本語字幕付き)・全2幕

10/29 田 15:00 ヘルベルト・ブルムシュテット指揮
バンベルク交響楽団

会 福岡シンフォニーホール
料 GS:¥16,000 S:¥14,000 A:¥12,000 B:¥9,000 C:¥6,000(学生券:¥3,000)
●ヴァイオリン/諏訪内晶子 ●曲目/ベートーヴェン:交響曲 第5番「運命」 他

新・福岡古楽音楽祭2016 ~爛熟のバリ・ロココ~

10/4 田 12:00 アクロス・ランチタイムコンサートvol.53
新・福岡古楽音楽祭プレコンサート~バリ四重奏~

会 福岡シンフォニーホール 料 全席指定:¥1,000
●バロック・フルート/前田りり子 バロック・ヴァイオリン/寺神戸亮 他
●曲目/テレマン:バリ四重奏曲 第4番、第6番

10/8 田 16:00 室内楽コンサート
テレマンinバリ~大人気作曲家が旅先で見たもの~

会 あいれふホール(※1) 料 一般:¥3,500 学生:¥1,000 (全席自由)
●バロック・ヴァイオリン/寺神戸亮 ヴィオラ・ダ・ガンバ/上村かおり 他
●曲目/テレマン:バリ四重奏曲 第1番 クープラン:リュリ賛 他

10/9 田 16:00 ストラディヴァリア・ナント・バロック・アンサンブル

会 福岡シンフォニーホール 料 S:¥6,000 A:¥4,000(学生券:¥2,000)
●曲目/ルベル:パレエ音楽「四大元素 Les Eléments」 他

10/10 田 15:00 曾根麻矢子トークコンサート「チェンバロの魅力」

会 国際会議場 料 全席自由:¥1,500
●曲目/ラモー:1つ目巨人達 ヘンデル:パッサカリア 他

*1 あいれふホール(福岡市中央区舞鶴2-5-1)

11/20 田 14:00 名曲の花束
ソフィア・ゾリステン&リヤ・ペトロヴァ

会 福岡シンフォニーホール 料 S:¥4,800 A:¥3,800
●指揮/ブラメン・デュロフ
●曲目/J.S.バッハ:G線上のアリア クライスラー:愛の喜び 他

11/29 田 19:00 日伊国交樹立150周年記念
ゴマラン・プラス イタリア・プラス界のドリームチーム

会 福岡シンフォニーホール 料 A:¥5,300 B:¥4,800 C:¥4,300
●曲目/プッチーニ:オペラ「トゥランドット」より「誰も寝てはならぬ」 他

12/6 田 19:00 福住スペシャルコンサート 2016
式守満美&読響 名曲の夕べ

会 福岡シンフォニーホール 料 S:¥5,500 A:¥4,500 B:¥3,500(学生席:¥2,000)
●指揮/小林研一郎 ピアノ/式守満美
●曲目/ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」 チャイコフスキー:交響曲 第4番

9月15日(木)発売

12/24 田 14:00 九州交響楽団 名曲・午後のオーケストラ
第7回 歓喜の歌が鳴り響く年末の「第九」

会 福岡シンフォニーホール 料 S:¥6,000 A:¥5,000 B:¥4,000(学生:¥1,500)
●指揮/川瀬賢太郎 ソプラノ/秦茂子 メゾ・ソプラノ/小林真理
テノール/苗田博昭 バリトン/原尚志
●曲目/ベートーヴェン:交響曲 第9番「合唱付き」

9月25日(日)発売

11/13 田 15:00 合唱とオーケストラのための組曲「筑紫讃歌」

会 福岡シンフォニーホール 料 S:¥3,500 A:¥2,500 (学生各席¥1,000引き)
●指揮/現田茂夫 ソプラノ/佐藤しのぶ バリトン/吉江忠男
管弦楽/九州交響楽団 合唱/筑紫讃歌特別合唱団
●曲目/團伊玖磨:交響曲 第1番 他

12/7 田 19:00 アクロス・クリスマスコンサート
パリの十字架少年合唱団

会 福岡シンフォニーホール 料 S:¥6,000 A:¥4,000(学生券:¥2,000)
●曲目/カッチーニ:アヴェ・マリア フォーレ:ラシーヌ讃歌 他

12/12 田 12:00 アクロス・ランチタイムコンサート vol.55
QUARTET MADE IN FUKUSHIMA

会 福岡シンフォニーホール 料 全席指定:¥1,000
●曲目/いずみたく:見上げてごらん夜の星を 他

2017年
1/6 田 19:00 ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団
ニューイヤーコンサート2017

会 福岡シンフォニーホール 料 S:¥8,500 A:¥7,500 B:¥6,000 C:¥5,000
●指揮/ヴァイオリン/ヨハネス・ヴィルトナー ソプラノ/クラウドディア・ゲーベル
●曲目/J.シュトラウスII:ワルツ「ウィーン気質」 他

2017年
1/28 田 14:00 佐賀銀行PRESENTS
めざましクラシックス in 福岡

会 福岡シンフォニーホール 料 S:¥6,800 A:¥5,800
●高嶋ちさ子(ヴァイオリニスト) 軽部真一(フジテレビアナウンサー) 他

2017年
3/11 田 18:00 読売日本交響楽団名曲シリーズ福岡公演

会 福岡シンフォニーホール 料 S:¥5,500 A:¥4,500 B:¥4,000(学生席:¥2,000)
●指揮/下野竜也 ヴァイオリン/アレクサンドラ・スム
●曲目/モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲 第3番 他

ファッションからグルメまで31の専門店

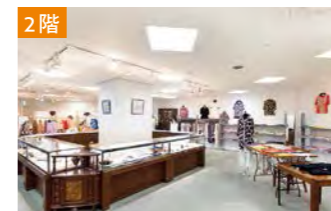
アクロス商店街

2階・3階フロアご紹介
次号は1階フロア

アクロス商店街 検索
〈アクロス福岡地下2階から地上3階〉



2階 婚礼貸衣装> 桂由美フランチャイズ ブライダルハザマ



2階 ジュエリー・ファッション・ギャラリー>GT JAPAN



3階 旅行用品&パスポート写真>レッドホース



3階 旅行用品&パスポート写真>J's 旅道具



プラハ国立歌劇場

NORMA

PRAGUE STATE OPERA

ベッリーニ
VINCENZO BELLINI

天逝した天才作曲家ベッリーニは、当時の大歌手で、後に伝説となった歌手、ジュディッタ・パスタと膝をつき合わせながらこのオペラを作り上げていった。「ノルマ」には2人の歌の技が詰め込まれている。「清らかな女神」で人々の心を静めたノルマは、「ああ、愛しい人、帰って」と、今度は、愛してはいけない相手を愛してしまった苦しい気持ちを吐露する。歌の力は、グルベローヴァのような歌手が歌えば、ここでも力を発揮する。客席で聴く者の誰が、間違った相手を愛してしまった女を責める気になるだろうか？

歌の技が大切な「ベルカント・オペラ」の最高峰と言われながら、「ノルマ」は案外上演される機会が少ない。スター級のソプラノが歌ってこそ真価を発揮するオペラだからだ。マリア・カラスが歌っていたころ「カラスの「ノルマ」といわれたように、歌うソプラノの名を付けて呼ばれることも多い。最近では「グルベローヴァの「ノルマ」だろう。

立ち上がってローマをやっつけよう！いきりたつ人々の気持ちが鎮まってく。ノルマの歌う「清らかな女神」の力は絶大だ。気持ちが穏やかになるのは舞台の上の、ドルイドの信者たちだけではない。客席にいる私たちだって、ノルマの歌に従って穏やかになってゆく。ノルマを優れたソプラノが歌えば。

鎮めるオペラ《ノルマ》

オペラ「ノルマ」の歌の力は、第二幕の長大なノルマのアリアにとどまらない。ドラマとしての頂点が幕切れの自己犠牲にあるとしても、音楽的頂点はノルマとアダルジーザの二重唱にある。長く愛し合い、子まで成した男に裏切られたノルマが、男の若い恋人であるアダルジーザと対決する場面だ。「ノルマ」の歌は、その鎮める力によって際立つ。まず「清らかな女神」の歌で示された力が、この二重唱でも露わになる。二人の女の対決は、オペラが誕生以来追求してきたテーマ、つまり赦しに変わってゆく。二つの女声の重なり合う美しい響きが、ノルマの気持ちを怒りから赦しに変え、アダルジーザの気持ちを恐れから感謝に変える。客席で聴く者の気持ちだつて、優しくしてしまうのは間違いない。素晴らしい声ですね！なんて上手に歌うのでしょうか！といった、歌への賛美、そして歌う歌手たちへの賛美を越えて、オペラという芸術に心を動かす経験が「ノルマ」ならでざるはず。裏切られた女や男、そして裏切られなかった女や男だつて経験できる。

PROFILE

堀内 修(ほりうち おさむ)
音楽評論家、オペラを中心としたクラシック音楽の評論を雑誌や新聞に発表するほか、FMやテレビの番組にも出演してきた。「ワグナーのすべて」「モーツァルト・オペラのすべて」(平凡社現代新書)などの著書がある。

1分でわかる「ノルマ」



ノルマ
エディタ・
グルベローヴァ
ソプラノ

師弟

元恋人



アダルジーザ
ズザナ・スヴェダ
メゾソプラノ



ポリオーネ
ゾラントロヴィッチ
テノール

今の恋人(?)

あらすじ

大国ローマに支配されているドルイド教徒たちが、耐えかねて反乱を起こそうとしている。そのとき悲劇が起こった。ドルイドの巫女の長であるノルマは、ローマの将軍ポリオーネと密かに通じ、子供も生まれていた。ところがポリオーネは若い女に心を移す。怒り狂ったノルマは、相手が若い巫女アダルジーザと知り、問い詰めはするものの許す。反乱が始まり、捕えられたポリオーネに、自分の元に戻るなら命を助けると申し出るが、拒否されたノルマは人々を集めて真実を告げる。戦いのために必要ないけにえは、掟を破って敵と愛し合った自分自身。ノルマが祭壇に燃える火に身を投じると、愛する気持ちを取り戻したポリオーネがその後を追った…。

公演情報

日 時: 10月26日[水] 18:30開演
会 場: 福岡シンフォニーホール
料 金: GS席18,000円 S席15,000円 A席13,000円
B席 10,000円 C席 7,000円(学生券3,500円)
演 目: ベッリーニ「ノルマ」
全2幕/原語上演・日本語字幕付
(公演予定時間3時間10分休憩含む)



福岡・音楽の秋フェスティバル2016

[会場] 福岡シンフォニーホール ほか

アクロス・クラシックふえすた

9月30日(金) 16:00~18:30 10月1日(土) 10:00~20:00
10月2日(日) 10:00~17:00
たくさんの楽器に出会える「楽器ふえすた」や、有料無料のコンサートが目白押し!今年もふえすたで音楽三昧しましょう!
※詳細はP6.7をご覧ください。

ストラディヴァリア・ナント・バロック・アンサンブル

ベルサイユ宮のシンフォニー 新福岡 音楽祭
10月9日(日) 16:00開演
フレンチバロックの名手、再登場!
曲目 | ジャン＝フェリ・ルベル: バレエ音楽《四大元素 Les Eléments》 ほか
※詳細はP8をご覧ください。

エディタ・グルベローヴァ主演 プラハ国立歌劇場「ノルマ」

10月26日(水) 18:30開演
究極のプリマドンナオペラ「ノルマ」を
究極のプリマドンナ、グルベローヴァで聴く!
※詳細はP2.3をご覧ください。

ヘルベルト・ブロムシュテット指揮 バンベルク交響楽団

10月29日(土) 15:00開演
巨匠が織りなすベートーヴェンの世界!
※詳細はP4.5をご覧ください。

合唱とオーケストラのための組曲「筑紫讃歌」

11月13日(日) 15:00開演
歌いつがれる筑紫のこころ
料金 | S席3,500円 A席2,500円 (学生各席1,000円引き)
出演 | 指揮/現田茂夫
ソプラノ/佐藤しのぶ バリトン/吉江忠男
管弦楽/九州交響楽団 合唱/筑紫讃歌特別合唱団
曲目 | 團伊玖磨: 交響曲 第1番
合唱とオーケストラのための組曲「筑紫讃歌」
※11月号で特集を予定しています。どうぞお楽しみに。

新福岡 音楽祭 10月8日(土)~10日(月・祝)

〜舞臺のバリ・ロココ〜
アクロス・ランチタイムコンサート vol.53
新福岡音楽祭プレコンサート「バリ四重奏」
10月4日(火) 12:00開演
室内楽コンサート
「テレマンinバリ〜大人気作曲家が旅先で見たもの〜」
10月8日(土) 16:00開演
曾根麻矢子 トークコンサート「チェンバロの魅力」
10月10日(月・祝) 15:00開演
◆古楽ステージ ◆古楽セミナー ◆チェンバロワークショップ ほか
出演 | バロック・ヴァイオリン/寺神戸亮、小池ユキ
ヴィオラ・ダ・ガンバ/上村かおり バロック・フルート/前田り子
チェンバロ/曾根麻矢子、チョー・ソンヨン ほか



Bamberger Symphoniker

バンベルク交響楽団

指揮

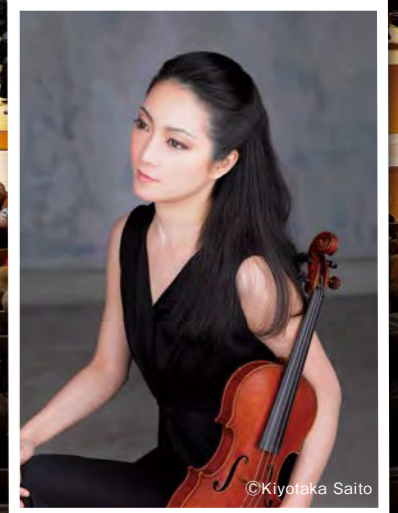
ヘルベルト・ブロムシュテット
Herbert Blomstedt, conductor

ヴァイオリン
諏訪内晶子

Akiko Suwanai, violin



©Gert Mothes



©Kiyotaka Saito

89歳の今もみずみずしい音楽を作り出す

ブロムシュテットを聴こう

バンベルクと言われても、あ、あそこかとピンとくる方はほとんどいないだろう。ドイツの東部に位置し、バイエルン州の一部オーバーフランケン行政管区の一部である。このオーバーフランケン行政管区の中にはバイロイト(ワーグナーの楽劇の音楽祭で有名な街)も含まれている。バンベルクは中世から続く古都で、大学の街として有名だった。

古くからバンベルクにオーケストラが誕生したのは、第2次大戦後のことである。そもそもはチェコ在住のドイツ人が作ったプラハ・ドイツ・フィルハーモニーという組織があり、チェコからドイツに帰ったドイツ人楽団員がバンベルクに集まり、1946年に第1回のコンサートを行った。それがバンベルク交響楽団の始まり。名匠ヨーゼフ・カイルベルトをはじめ、オイゲン・ヨッフム、イシュトヴァーン・ケルテスなど、戦後を代表する指揮者が次々とこのオーケストラで指揮をした。現在はジョナサン・ノット(東京交響楽団の音楽監督としても有名)が首席指揮者となっている。バンベルク市は7万人ほどの人口で、周辺を合わせても20万人ほどの地域であるが、そこでドイツ屈指

のオーケストラが活動しているのは、ひとつの奇跡と言って良い。今回の来日公演の楽しみは、そのバンベルク交響楽団と巨匠ヘルベルト・ブロムシュテットの組み合わせ、ということになるだろう。そして諏訪内晶子がソリストとして同行するというのも注目だ。

ブロムシュテットは今年で89歳。まさにクラシック界の最長老指揮者である。しかし、その音楽は常にみずみずしく、東京での彼の指揮する公演には常に多くの音楽ファンが押し掛けている。スウェーデン出身の両親のもと、アメリカで生まれたブロムシュテットは活動の初期には北欧のオーケストラを指揮し、その後シュタットカペレ・ドレスデン(ドレスデン歌劇場のオーケストラ)の首席指揮者、サンフランシスコ交響楽団の音楽監督として、日本人にも親しまれるようになった。

厳格でありながら、温かい。それがブロムシュテットの音楽作り。その魅力が最も発揮されるのはやはりドイツ音楽だと思いが、今回のアコース福岡公演では、極め付きの名曲であるベートーヴェンの「ヴァイオリン協奏曲」と「運命」が演奏される。

公演情報

日時	10月29日[土] 15:00開演	文化庁
会場	福岡シンフォニーホール	
料金	GS席16,000円 S席14,000円 A席12,000円 B席 9,000円 C席 6,000円(学生券3,000円)	
出演	指揮/ヘルベルト・ブロムシュテット ヴァイオリン/諏訪内晶子	
曲目	ベートーヴェン:ヴァイオリン協奏曲 交響曲 第5番「運命」	

PROFILE

片桐 卓也(かたぎり たくや)
1956年福岡県生まれ。音楽ジャーナリストとして「音楽の友」「モーストリー」ラシック」誌などに執筆を続けるほか、NHK・FM J-WAVEなどラジオでもクラシック情報を発信している。

出演者のインタビュー

今回、バンベルク交響楽団の名譽指揮者、ヘルベルト・ブロムシュテット氏との共演をとっても楽しみにしています。注目のプログラムは、ベートーヴェンの「ヴァイオリン協奏曲」ですね。諏訪内さんにとって、この曲の魅力や難しさはどういう部分になりますか。

ブロムシュテットさんは、音楽家として大変尊敬していますので、かなり前から共演を楽しみにしていました。

この協奏曲は、ヴァイオリニストが演奏する協奏曲の中では特に難しいといわれています。独奏部分は、単純なスケール(音階)が織りなす旋律で美しい音楽が作られているのですが、高い技術レベルよりは、総合的な音楽作りが要求されます。

ところで、素晴らしい演奏はもちろんですが、いつも華やかなステージ衣装にわくわくさせられます。プログラムのイメージにあわせるなど衣装へのこだわりはありますか？

「動きに支障がない」ということを、何よりも最優先にしています。

これまで数多く福岡シンフォニーホールにご登場いただいておりますが、何か特別な印象や思い出などはありますか？

中学時代の恩師が福岡出身で、初めて福岡で演奏したのは、その先生が担任のときでした。まだアコース福岡が開館する前でしたので別の会場だったのですが、それ以降福岡で演奏するときはそのときが思い出され、個人的にいつも楽しみにしています。福岡シンフォ

ニーホールは、音が響く時間が長く、奏者にとって理想的な空間です。

福岡のお客さまへメッセージをお願いします。

バンベルク交響楽団とは、20年近く共演を重ねています。初めて共演したときに聴いた、深く味わいのある音色はほんとうに衝撃的でした。その後も発展し続けているオーケストラと、ベートーヴェンの協奏曲を福岡で共演させていただくことを、大変楽しみにしております。みなさまぜひお越しください。

諏訪内 晶子 (ヴァイオリン)

Akiko Suwanai

1990年史上最年少でチャイコフスキー国際コンクール優勝。これまでに小澤征爾、マゼール、デュトワ、サヴァリッシュらの指揮で、ボストン響、フィラデルフィア管、パリ管、ベルリン・フィルなど国内外の主要オーケストラと共演。2012年より「国際音楽祭NIPPON」を企画制作し、同音楽祭の芸術監督を務めている。使用楽器は、日本音楽財団より貸与された1714年製作のストラディヴァリウス「ドルフィン」。



©吉田民人

10月1日[土]

10月2日[日]

[入場料]A公演セット券 1,000円(全席自由) ※小学生以下は無料 ※Bのみ未就学児入場可

A 17:00~18:00
ふえすたガラコンサート

ゲストプレイヤーと九響メンバーによる
多彩なアンサンブルステージ

- ヴァイオリン/澤和樹 ピアノ/夢沼恵美子
ジャストロンボーン/片岡雄三 ピアノ/久保田浩
A.C.ジョビン:A Felicidade
チューバ/古本大志 ピアノ/久保千尋
サクソフォン/福井健太
九州交響楽団メンバーとみんなでお楽しみ!



B 15:00~16:00
九州交響楽団シンフォニックポップ

親子でオーケストラを楽しもう! “ふえすた”ならではの、
オーケストラの魅力満載のファミリーコンサート

- カバレフスキー 「道化師」より ギャロップ
ハチャトゥリアン 「ガイヌス」より レズギンカ
ブラームス ハンガリー舞曲 第5番
宮川彬良 シンフォニック・マンボ No.5



指揮/中井章徳

オーケストラ/九州交響楽団

会場 福岡シンフォニーホール
コンサートシリーズI 有料

会場 円形ホール1F
コンサートシリーズII 無料

11:00 一緒にHappy!おかり~な玉手箱 深瀬欽吾(オカリナ)

13:00 新作ヴァイオリン試奏会 朝長茜(ヴァイオリン) 野田恵美(ピアノ)

15:00 自衛隊音楽隊 アンサンブル・スクエア 航空自衛隊西部航空音楽隊 木管五重奏・金管五重奏

17:00 プロコフィエフの「ピーターと狼」 アートムジカ 田中美江(ピアノ) 小野弥生(ソプラノ) 保坂真紀(絵)

19:00 ヴァイオリン・ピアノによるデュオ・リサイタル 澤和樹(ヴァイオリン) 夢沼恵美子(ピアノ)

11:00 エリック・ミヤシロと ヤマハトランペットの知られざる関係 エリック・ミヤシロ(トランペット)

13:30 クラシック奏者でも出来る アドリブ講座 福井健太(サクソ)

16:00 古本大志 テューバ遊び 古本大志(テューバ)



要事前申込 楽器を持ってシンフォニーホールへ集まろう! 出演者募集 参加費:1,000円 (コンサートシリーズI鑑賞券付き)

ブラス・ジャンボリー(吹奏楽)

受付・リハーサル 9:00~12:00 自由演奏会本番 12:30~13:00
[指揮・指導]松澤 洋(九州管楽合奏団ミュージックアドバイザー)

ストリングス・カーニバル(弦楽器)

受付・リハーサル 9:00~12:00 自由演奏会本番 12:30~13:00
[指揮・指導]中井章徳 [ヴァイオリンソロ]澤和樹

会場 福岡シンフォニーホール
自由演奏会2016 一般入場無料

楽器クリニック 無料

要事前申込 楽器経験者対象 公開講座形式のクリニックを開催します。聴講のみのご参加も可能です。
★参加費無料★楽器・筆記用具持参 【会場】練習室1

12:00 トロンボーン [講師]片岡雄三(片岡雄三クインテット)
15:00 サクソ [講師]川口力(平成音楽大学講師)
18:30 テューバ [講師]古本大志(広島交響楽団奏者)

11:00 サクソ [講師]福井健太(サクソフォン奏者)
13:30 ヴァイオリン [講師]澤和樹(東京芸術大学学長)

[受付・お問い合わせ]クレモナ楽器 TEL. 092-713-5303 (ヴァイオリンのみイスタ・バイオリン TEL. 092-713-7536)
[参加申込書]●アクロス福岡チケットセンター、イスタ・バイオリン、クレモナ楽器にて配布 ●アクロス福岡ホームページよりダウンロード可

ふえすた特別パネル展 9/26(月)~10/2(日) 10:00~18:00

「福岡・音楽ものがたり」[会場]メッセージホワイエ(2F)
日本で初めて、日本人による「第九」が響いたのは、天神だった!?

「楽器のひみつ」[会場]コミュニケーションエリア(1F)
クラシックふえすたには、弦楽器・木管楽器・金管楽器など、たくさんの楽器が集まります。



2016年9月30日(金)・10月1日(土)・2日(日)

アクロス クラシックふえすた



入場無料 楽器ふえすた

アクロスに楽器が大集合。あこがれの楽器にトライ!! 展示・試奏・即売会を開催します。夢のような3日間!!

[出展社] ●イベントホール ●クレモナ楽器/ (株)グローバル/野中貿易(株)/ (株)ビュッフェ・クランボン・ジャパン/ (株)ヤマハミュージックジャパン/ (株)全音

B2F イベントホール
木管楽器・金管楽器
音楽ソフト展示ブース



デモステージ(無料)

10月1日(土) 12:00 サクソ 13:30 サクソ・トリオ 16:30 トロンボーン 18:30 トランペット
10月2日(日) 10:30 バリテューバ 13:00 サクソ 14:30 オカリナ

2F 交流ギャラリー
弦楽器展示ブース



デモステージ(無料)

10月1日(土) 12:30 ヴァイオリン 14:00 ヴァイオリン&チェロ合奏 16:00 ヴィオラ試奏会
10月2日(日) 12:00 ヴァイオリン&チェロ合奏 14:00 ヴァイオリン試奏会 16:00 ヴァイオリン

Table with columns for date, time, and venue (Symphony Hall, Round Hall, Event Hall, Exchange Gallery, Practice Room, Seminar Room). It lists various events and performances across three days.

[第10回記念・スペシャルコンサート及び未経験者対象「ヴァイオリン体験レッスン」受付・問い合わせ先] アクロス福岡チケットセンター Tel. 092-725-9112

アイコンの説明: 会場 時間 料金 出演・講師 テーマ・内容 曲目・演目

10/11 アクロス・ランチタイムコンサートvol.54《スペシャル版》
ロータス・カルテット&ペーター・ブック



世界で活躍する日本発祥の
カルテットが登場!!

今回のランチタイムコンサートは、ドイツを拠点に活躍しているロータス・カルテットが、チェロの巨匠ペーター・ブックを迎え、「クロイツェル」の弦楽五重奏版ほかを90分のスペシャル版でお届けいたします。

ベートーヴェンの「クロイツェル」弦楽五重奏版は、「ヴァイオリン・ソナタ第9番」が原曲で編曲者不明ですが、その原曲を忘れてしまうほど素晴らしい作品です。ぜひ、ホールでお楽しみください。



- 福岡シンフォニーホール 12:00開演
- 全席指定1,000円
- チェロ/ペーター・ブック、ロータス・カルテット 第1ヴァイオリン/小林幸子 第2ヴァイオリン/マティアス・ノイドルフ ヴィオラ/山崎智子 チェロ/齋藤千尋
- シューベルト:弦楽四重奏曲 第14番「死と乙女」D.810
- ベートーヴェン:弦楽五重奏のための「クロイツェル」

アクロス・文化学び塾

九州山口地域の美術館、博物館で開催される催し物の事前レクチャー講座!

セミナー室2 14:00~15:30(要事前申込・先着70名) 500円



10/15 筑紫君磐井と岩戸山古墳

独立のため戦った筑後地方の英雄とは?!

古代から筑後地方の中心として栄えた八女地域は、それぞれの時代の文化財が数多く伝えられています。特別展「八女の名宝」では、岩戸山古墳とその出土品、南北朝時代に後醍醐天皇の皇子・征西將軍宮懐良親王に従って九州に来られた五條頼元のご子孫に伝わった五條家文書、谷川寺に守り伝えられた平安時代初めの薬師如来をはじめとする宝物、星野焼や燈籠人形など八女地域で現在も生産されている伝統工芸品を展示します。この講座では、古墳時代の6世紀に八女地域を本拠地として栄えた豪族・筑紫君磐井が、倭王権と戦った「磐井の乱」の経緯、磐井の墳墓である岩戸山古墳と石人・石馬をはじめとする出土品に焦点をあててご紹介します。



八女市・岩戸山古墳(南西上空から)

酒井 芳司(九州歴史資料館 学芸員)

特別展「八女の名宝」
平成28年9月22日(木・祝)から平成28年
11月13日(日)まで九州歴史資料館にて開催

入場無料

<p>10/6 アクロス福岡フロアコンサート vol.423 特別編</p> <p>コミュニケーションエリア 12:15~13:00</p> <p>前田りり子(バロック・フルート) チョー・ソンヨン(チェンバロ)</p> <p>グラヴェ:フルート・ソナタ口短調 J.S.バッハ:ファンタジアとフーガ 他</p>	<p>10/8 ミュージック☆ファクトリー vol.71</p> <p>コミュニケーションエリア 11:30~12:00</p> <p>芸工アヴァンギャルド・コンソート</p> <p>新・福岡古楽音楽祭2016とのコラボ企画をお届けします!</p>	<p>10/18 Acros クラシック・カフェ</p> <p>円形ホール 11:00~12:30 ※当日先着100名</p> <p>中村雅子(音楽ライター)</p> <p>「運命」は扉をたたいたか?</p> <p>関連公演 10/29パベルク交響楽団 (ベートーヴェン:交響曲 第5番 運命)</p>	<p>10/20 アクロス福岡フロアコンサート vol.424</p> <p>コミュニケーションエリア 12:15~13:00</p> <p>松本さくら(ヴァイオリン)、甲斐田柳子(ヴァイオリン)、正村まどか(ヴィオラ)、永野紗佑里(チェロ)</p> <p>ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第1番 他</p>
---	--	---	---

10/15 アクロス・ミュージアムコンサート in 九州歴史資料館

九州歴史資料館で開催される特別展「八女の名宝」にあわせ、八女出身のサクソフォン奏者、斎藤広樹さんを中心とした、九州管楽合奏団メンバーによるサクソフォン四重奏の演奏をお楽しみいただけます。

九州歴史資料館(小郡市三沢 5208-3) ☎0942-75-9575

①13:30~14:00 ②15:00~15:30

サクソフォン四重奏 斎藤広樹、志垣美雪、安藤岳人、田中麻衣子

カルメン幻想曲、サウンドオブミュージックメドレー ほか

今月の おすすめイベント

10/4 アクロス・ランチタイムコンサートvol.53
新・福岡古楽音楽祭プレコンサート ~パリ四重奏~



バロック後期の作曲家 テレマンの最高傑作「パリ四重奏」

ランチタイムにランチ価格にて、気軽に音楽をお楽しみいただける「ランチタイムコンサート」。今回は10月8日(土)から3日間開催される「新・福岡古楽音楽祭」のプレコンサートをお届けいたします。

「パリ四重奏曲」は、ドイツの作曲家テレマンが、憧れであったパリ行きを実現させた1738年に書き下ろされた作品で、フランスの芳醇な香りが漂う室内楽の最高傑作と呼ばれています。聴き手をあきさせない、テレマン独自の軽妙でユーモアあふれる音楽をご堪能ください!

- 福岡シンフォニーホール 12:00開演
- 全席指定1,000円
- バロック・フルート/前田りり子 バロック・ヴァイオリン/寺神戸亮 ヴィオラ・ダ・ガンバ/上村かおり チェンバロ/チョー・ソンヨン
- テレマン:パリ四重奏曲集 第2集「6つの組曲からなる新四重奏曲集」より 第4番、第6番



10/7 西日本オペラ協会「コンセル・ピエール」公演
オペラ『秘密の結婚』



チマローザの最高傑作ラブ・コメディ!!

「イタリアのモーツァルト」と称されたチマローザの残したオペラ・ブッフア。初演時には臨席した皇帝レオポルト二世が気に入って、同じ日にもう一度上演し直したという最高傑作ラブ・コメディです。

大金持ちの商人ジェローニモ。彼は娘を貴族と結婚させることを望んでいる。そんな一家にはある秘密が。それは次女のカロリーナが使用人のパオリーノと結婚しているということ。パオリーノは、この結婚を認めてもらおうと策を講じるのだが…。そして、一家は大騒動!! 一体どうなるの!?

- 福岡シンフォニーホール 18:30開演
- 指定席/S席6,000円 A席5,000円 自由席/3,000円(学生2,000円) ※当日各席500円増
- 指揮/奥村哲也 演出/松本重孝 管弦楽/九州交響楽団 チェンバロ/大森美樹
- 西日本オペラ協会コンセル・ピエール
- チマローザ:オペラ『秘密の結婚』



10/9 ストラディヴァリア・ナント・バロック・アンサンブル



フランス随一のバロック・アンサンブルに聴く「宮廷音楽の極意」

昨年のアフタヌーンコンサートで場内を唸らせたストラディヴァリアが、大編成になって再登場です。

「爛熟のパリ・ロココ」をテーマに展開する今年の新・福岡古楽音楽祭で披露するのは、宮廷作曲家として活躍していたルベルの遺作「バレエ音楽『四大元素』」と、フランクールがアルトワ伯の婚礼のために作曲した作品です。バロック時代を象徴する華やかな衣装や装飾品、そして宮廷音楽。その雰囲気を感じさせてくれるのがこの公演といえるでしょう。繊細でありながらも豊潤な音色を奏でるストラディヴァリアサウンドをぜひ生でご堪能ください。

- 福岡シンフォニーホール 16:00開演
- S席6,000円 A席4,000円(学生券2,000円)
- 指揮/ダニエル・キューイユ
- ジャン=フェリ・ルベル:バレエ音楽『四大元素 Les Eléments』
- フランソワ・フランクール:ロイヤルフェストのための交響曲 1773 ほか



コミュニケーションエリア企画展 1階

10:00～18:00(最終日16:00まで)

市町村、学校、文化団体などの作品展やイベントPR等企画展を開催しています。



9/26(月)▶10/2(日) クラシックふえすた アクロス クラシックふえすた2016「楽器のひみつ」

10回目の節目の開催を迎える「クラシックふえすた」には弦楽器・木管楽器・金管楽器など、たくさんの楽器が集まります。楽器の種類はさまざま、音の出るしくみや楽器の構造など、おさまや初心者の方にも分かりやすく解説したパネル展示を行います。

■アクロス・クラシックふえすた2016 9月30日(金)～10月2日(日)
主催 アクロス・クラシックふえすた実行委員会

10/3(月)▶10/10(月・祝) 新・福岡古楽音楽祭2016パネル展

「時代楽器～演奏会を彩る名役者たち～」この音楽祭では、その時代に使われていた楽器または、その忠実なコピーが使用されています。パネル展では、これら時代とともに変化していく楽器を紹介いたします。

主催 新・福岡古楽音楽祭実行委員会

10/11(火)▶10/23(日) ふくおか農林業の魅力再発見

イチゴ「あまおう」や水稻「元気つくし」など、数々の新品種を開発してきた福岡県農林業総合試験場。美味しい農産物や、11月19日(土)に行われるイベント「農林試ふれあいフェスタ」についてご紹介します。

主催 福岡県農林業総合試験場

10/24(月)▶10/30(日) 第5回浄化槽ポスターコンクール

次世代の子どもたちに美しい水環境を残すため、「家庭から出る汚れた水をキレイにする浄化槽と水辺の環境」をテーマにしたポスターコンクールを行っています。今回はその作品を展示します。

主催 一般財団法人福岡県浄化槽協会

10/31(月)▶11/13(日) 新・七夕伝説 恋来い!おごおり

小郡市には織姫を祀った「七夕神社(媛社神社)」と恋人「牽牛」を祀った「老松神社(牽牛社)」があります。古代のロマンを受け継ぐ「新・七夕伝説」を中心に小郡市の魅力をご紹介します。

主催 一般社団法人小郡観光協会

文化観光情報ひろば Tel.092-725-9100 (10:00～18:00)

1F 観光情報提供 九州・沖縄、山口エリアの観光パンフを600種類以上配布! 各地の祭り・イベントチラシも随時更新中!

1F 外国語対応 (英語/11:00～17:00) ボランティア通訳ガイド「福岡SGGクラブ」が常駐し、外国人旅行者の旅のお手伝い!
Provide you free sightseeing information!

2F 文化情報提供 九州・沖縄、山口エリアのコンサート、展覧会、芝居などのチラシを約350種類配布!

メッセージホワイエ作品展 2階

10:00～18:00(最終日16:00まで)

個人やグループの絵画、写真など、壁面を利用した作品展を週替わりで開催しています。



9/26(月)▶10/2(日) クラシックふえすた アクロス クラシックふえすた2016「福岡音楽ものがたり」

日本で初めて、日本人による「第九」がホールに響いたのは天神だった!?音楽が盛んな街「福岡」の音楽的土壌を、ベートーヴェン「第九」をテーマに紐解きます。

■アクロス・クラシックふえすた2016 9月30日(金)～10月2日(日)
主催 アクロス・クラシックふえすた実行委員会

10/3(月)▶10/9(日) フォト倶楽部Polester写真展「遊」

クラブ結成5周年を記念してデジタルとフィルムの写真展を開催します。「造形」をテーマにした作品を中心に、マクロレンズで撮影した幻想的な写真、自由な視点で撮った写真を併せて約30点を展示します。

主催 フォト倶楽部Polester

10/12(水)▶10/16(日) 第11回福岡文化連盟祭り「第3回天神アートビエンナーレ」

熊本地震からの復興を願い、全国各地から寄せられた応援メッセージで九州の形(絵)を造ります。会期中、会場にメッセージカードを用意していますので、九州の形と一緒に完成させませんか。

※交流ギャラリー同時開催10/12(水)～10/18(火)
主催 福岡文化連盟、西日本新聞社

10/17(月)▶10/23(日) 四季の会作品展

四季の会は、絵を描くことが好きな平均年齢81歳の元気なシルバー世代が活動しています。アクリルやパステル、水彩で描いた風景や人物、静物などの作品30点を展示します。

主催 四季の会

10/24(月)▶10/30(日) 花の会福岡 第10回写真展

花をメインに撮り続けている「花の会福岡」は、ありのままの花を丁寧に写し美しく表現できるように、撮影技術の向上に力を入れています。会員30名が撮影した写真30点を展示します。

主催 花の会福岡

10/31(月)▶11/6(日) ドライポイントアートのワークス2016

ドライポイントとは、鉄筆(ニードル)を使って金属の板に描くように彫り、インクをつけてプレス機で刷る銅版画のひとつです。竹崎陽子と学ぶ会員の個性あふれる銅版画作品30点を展示します。

主催 竹崎 陽子

アート・ステーション

入場無料

お問い合わせ ▶ 文化観光情報ひろば Tel.092-725-9100

匠ギャラリー企画展 2階 10:00～18:00(初日12:00から最終日16:00まで) 販売あり

福岡県の国・県指定の伝統工芸品を常設展示しています。また、週替わりで民芸品作家による作品展も開催しています。

9/26(月)▶10/2(日) 木と土の物語 二人展

工房薫風舎は広葉樹を使用したオイル仕上げの家具や木工小物を、阿蘇青々窯は穴窯で100時間焼成した、自然釉と焦げ、緋色、窯変などを楽しむ器を展示販売します。手作りの温かみある作品をお楽しみください。(約250点展示)
体験 手口クロを使った制作体験 / 500円 ※作品は焼成後、着払いにてご自宅にお送りします。

10/3(月)▶10/9(日) 染め型紙にみる江戸文様

染め型紙とは着物を染めるための型紙のこと。型紙彫りは江戸時代に隆盛を極めた伝統工芸として現在も受け継がれています。勢いのある江戸後期の文様から大正時代のモダンな文様への移り変わりを、作品を通してご覧ください。(約100点展示)
実演 型紙彫りの実演

10/10(月・祝)▶10/16(日) 木工四人展

まず「材」ありきと言われる木工芸。一つ一つの木のクセを熟知しているからこそできる職人技があります。滑らかな手触りの椅子やテーブル、桐たんすや組子の衝立など、木の温もりが伝わる作品を展示販売します。(約100点展示)
実演 木工制作実演

10/17(月)▶10/23(日) 福岡県工芸作家手仕事展～暮らしを繋ぐ8の手～

福岡県で活躍する工芸作家4人の展示会です。伝統の技が光る小石原焼の器や漆の水指、久留米緋の着尺や柔らかな表情の人形などを展示販売します。新しい感性でモノづくりに取り組んだ個性豊かな作品をお楽しみください。(約300点展示)
体験 皿の絵付け体験 / 1,500円 (九州圏内送料込み※九州圏外は追加料金有)

10/24(月)▶10/30(日) おおばやし陽子の和紙展2016

アクセサリから建築空間まで幅広く和紙を取り入れ、その魅力を表現してきました。今回は植染めした八女和紙で会場を演出し、バッグや小物などを展示販売します。櫃から取れる貴重な染料は、透明感とシャリ感がある八女和紙にとってもよく馴染みまました。ぜひ会場でご覧ください。(約100点展示)
体験 和紙の香り袋作り体験 / 大1,000円、小800円

10/31(月)▶11/6(日) 第53回博多人形作家協会新作展

博多人形作家協会会員の熟練作家から若手作家、研究生までの新作が勢揃いします。今回は特別企画として、九州での震災を悼み「頑張ろう!九州」をテーマに九州の歴史、文化などを題材にした作品を展示し、エールを送ります。(約70点展示)
実演 博多人形の制作実演

耳学 家具と暮らす
オイル塗装することによって、木材は家具という姿に形を変えながらもずっと呼吸をし続けることができます。そう、おうちに届いてからがその家具の人生の始まりなのです。環境に合わせて伸縮を繰り返しながら、私たちの生活になじんでいくテーブルや椅子ってきっととおしい存在になりますよね?

耳学 江戸時代に大流行!「麻の葉文」
文政年間に歌舞伎役者、若井半四郎が麻の葉文様の衣装を用いて大流行した文様で、現代にも着物や組子などに用いられる「麻の葉文」。麻の葉は成長が早く、まっすぐに伸びることから、子どもの成長を願って麻の葉文の産着を着せる習慣があったそうです。

耳学 組子ってなんだ?
組子とは、釘を使わず、木と木を組み合わせてさまざまな模様を表現する伝統技術のこと。和室の障子や欄間(らんま)などの建具に使われ、その精巧で美しい幾何学模様は、部屋や空間を華やかに彩ります。最近では、大川組子が、豪華寝台列車「ななつ星」に使われるなど、現代のスタイルと融合する組子を目にする機会も増えてきましたね。「ちょっと自分で作ってみたい!」という方には、市販されている手作り組子キットもおおすすめです。

耳学 漆、これぞ最古の伝統工芸!
400年? 800年? いえいえ、日本における漆塗り製品の歴史は、なんとるか昔の9000年ほど前にさかのぼるそうです。時代の流れとともに、装飾品、武器、棺などに使われ、今なおその歴史を刻みつづける漆。現在ではなんといっても工芸品「漆器」が、私たちに与える“漆”のイメージではないでしょうか。先人の知恵や技術がたくさん詰まっている漆製品を、ぜひ日本人の誇りとして大切にしていきたいものです!

耳学 ハイ・ステータスの象徴色「植染」
植染の特徴は、赤みの深い黄金のような黄色で、とても温かみを感じる日本の伝統色です。山野に自生するヤマハゼの黄色い心材を染料とし、奈良や平安時代の古文書に、染め紙の色や裂染(きれぞめ)の色として記載されています。平安時代には、高貴な身分を表す衣の色として使用されました。

耳学 コラボしてます!
伝統を守り続けるためには変化に富んだスタイルもときには必要なんです! ということで、博多人形はこれまで、アニメや人気キャラクターとの「コラボ」作品を登場させています。松本零士作品から「トチロー/黒田武士Ver.」や、ホークス謎のキャラクターとスワローズのマスコットがともに並ぶ「ふうさん×つば九郎」などは、新たな博多人形ユーザーを増やしてくれる立役者になりそうですね。



Takai Ayaka

九響の首席トロンボーン奏者高井郁花さんとクラリネット奏者荒木こずえさんのお二人に、11月開催の「第354回定期演奏会」のプログラムについてお話を聞きました。

Q:今回は、オール・フランス・プログラムですね!

高井 郁花:ドイツ音楽のレパートリーが多い九響ですし、希少かも知れませんが、重厚で哲学的な趣のドイツものと対照的で、簡単に言うと、フランスものは、陽気でおしゃれな雰囲気があります。

荒木 こずえ:同じ「歌うように」という楽譜上の指示でも、ドイツ人のとフランス人のそれは思惑が違います。日本人が味噌汁の味の違いに敏感なように、その国の人にしか分からないニュアンスってあるじゃないですか。フランス人だからこそその歌いかたがあるはずで、今回、フランス人クラリネット奏者のランベールさんと共演できることがとても嬉しいです。以前来日されたときにレッスンを受けましたが、音楽にとっても誠実な方でした。

Q:フランスの「クラリネット協奏曲」ってどんな作品ですか?

荒木:クラリネット吹きのレパートリーとしてよく登場する作品です。作風は古典的なんですけど、聴いていると「次こうくるかな?」っていう予想がごとごと裏切られますよ。もちろんいい意味で。例えて言うとな、孫を驚かせて楽しんでいるおじいちゃんのようなイメージ(笑)。とても愉快的な作品で、おそらく聴いている最中に眠ってしまう…なんてことはないと思います。水の中に沈んでいくような雰囲気です。3楽章が終わったと思うと一転、突然、高音域でエキセントリックに第4楽章が始まる…とか。そして、ソリス

九響音プロトリーク #19

クラリネット奏者 荒木 こずえ × 首席トロンボーン奏者 高井 郁花

知れば知るほどおもしろい! コンサートは行きたくなる!

トはもちろん、オケ中のクラリネットも、個々の技量がかかり要求される曲で、聴きどころ満載です。

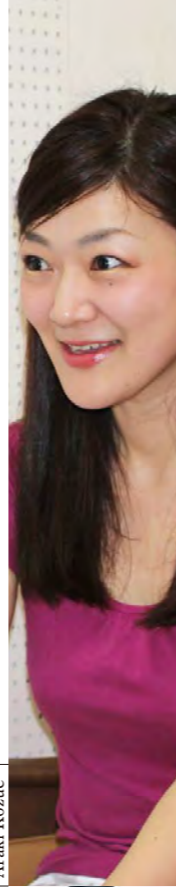
Q:ラヴェルのバレエ音楽「ダフニスとクロエ」も楽しみです。

高井:そうですね、吹奏楽編曲でもよく演奏される作品です。今年度の定期では唯一の合唱付きの演目になりますね。もちろん出演は九響合唱団。今年結成20周年なんですよ! ステージ上で私のいる場所は、合唱団の歌声と熱気を真後ろからダイレクトに受けるんです。いつもと違う高揚感を感じるし、合唱も一つの楽器なんだなと思います。実は、子どものころバレエをやっていたこともあって、バレエ音楽には特別な親しみを感じます。今回は、純粋にその「音楽」を楽しめる公演です。

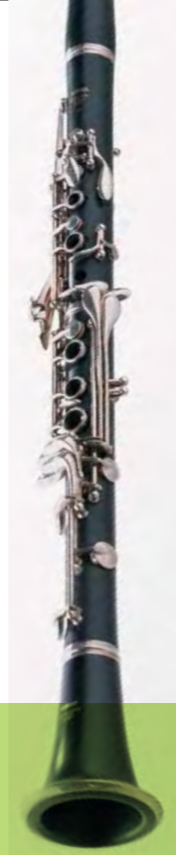
Q:九響に10年振りのご登場のマエストロ広上さん。どんな指揮者ですか?

高井:指揮を振るその姿は、まるで役者のよう(笑)。初めて演奏を聴いたときは、広上さんにずっと釘付けでした。オリジナリティーあふれる指揮をされることで有名です。ユニークな動き一つ一つに音楽的根拠がある。本当に素晴らしい指揮者です。

荒木:きつといろいろ仕込んでおられるでしょうね! 少し憂鬱なサティ、軽快なフランス、正統派なラヴェル、全てキャラクターの違うフランス作品を、広上さんがどう振り分けられるのか、見どころがいっぱい! そういえば、この定期演奏会前日は、ボジョレーヌーボー解禁日でもありますね。11月は、食で、音楽で、フランスの文化を楽しんでみてはいかがでしょうか。バラエティーに富むフランス音楽作品3本立ての11月の九響定期にぜひご期待ください!



Araki Kozue



Clarinet



博多織職人 小川 規三郎 Ogawa Kisaburo

プロフィール 福岡県福岡市生まれ。父であり後の人間国宝・小川善三郎に師事し、自身も2003年重要無形文化財「献上博多織」技術保持者に認定。日本伝統工芸展、日本工芸染色展などで受賞する一方、九州産業大学名誉教授や博多織デベロップメントカレッジの学長を歴任するなど、後進の育成にも励んでいる。2006年福岡県文化賞受賞。

博多織の歴史は770年前に遡りますが、これほど長い歴史を持つ工芸品は数少ないと思います。福岡県はさまざまな文献からもわかる通り、二千年以上も前から人々が暮らしていた土地だと言われています。衣食住が満たされたあとに生まれるのが、文化。そういう意味では、長い歴史を持つこのエリアに多様な文化が根付いているのは、自然なことでしょう。 私は15歳から父を手伝い、職人としても65年になります。博多織が持つ770年の歴史のうち、ほんのわずかしが関わっていません。どんなに頑張っても自分の爪痕が遺せるのはせいぜい70年くらい。だからこそ、毎日時間を大切に生きています。1日24時間を3つに分け、8時間働き、8時間学び、8時間を自由時間にします。とても決めていません。寝る時間は?とよく聞かれるのですが、3、4時間も寝れば十分。あとは本を読み、常に勉強をしています。昔から本が大好きだったので、職人気質の父から「新聞を読む暇があれば、手を動かせ!」とよく怒られて。今になって、勉強する楽しさを満喫していますね。とはいえ、教えている学生たちによく言うのは、「本に頼らず目学問、耳学問を大切にしろ」ということ。本は誰かが書いたもの。自分の目と耳でたくさん話を聞き、自分の頭で考えて、遠回りでもいいから学ぶことで、自分自身の感性が作られていきます。「明日できるこ

とを今日してしまえ」ともよく言うのですが、そうして生まれた時間の貯金を旅などに使い、現地の人とふれあい、歴史を学び、多くの工芸品を目にしてみたい。自分自身も、何より大切な経験だと思えます。本はそれに付随する知識の一つでしょう。 自然と触れ合うことも文化を創出する大切な要素の一つだと思えます。私は昔から山登りが好きなのですが、ある春の日に山を歩いていたら、竹藪の中に藤の花が一本すつと垂れ下がって、そこに木漏れ日がさしていい感じです。帰ってきてすぐにその光景をデザインして、帯に仕立てました。一瞬の自然の中に、主役と脇役、相手役がすつと浮かび上がってくるのです。職人は腕の良さ、技術の高さを誇るように思われる方も多いですが、デザインや色を考える段階こそ重要。その感性は日々の暮らしの中で、磨き続けなくてはなりません。千の問題に対して、万の答えを持っていくには、いい作品は出来上がらないのです。若い職人の方には、じつと工房に閉じこもるのではなく、町や山に出かけて、流れる雲や舞い落ちる木の葉から、たくさんヒントを受け取ってほしいと思います。そして自分が大きな声で作品を説明するのではなく、黙っていても作品自身が語り出すようなものを作るべき。努力は必ず、作品自体に宿っているのです。

(文 上田瑞穂)

聴きに行こう!

九州交響楽団 第354回定期演奏会 広上が贈るフランス音楽のエスプリ

11/18金 19:00開演 福岡シンフォニーホール

S席¥5,200 A席¥4,200 B席¥3,100(学生¥1,100) アクロス福岡チケットセンターにて発売中

サティ=ドビュッシー編 ジムノペディ第1番・第3番 フランス クラリネット協奏曲 ラヴェル バレエ音楽 「ダフニスとクロエ」



指揮:広上浮一



クラリネット:リシャール・ランベール

合唱:九響合唱団

募集

アクロス福岡で工芸品・作品展をしませんか？

アクロス福岡2階の「匠ギャラリー」と「メッセージホワイエ」では、交替わりで皆さんから公募した伝統工芸や絵画などを展示し、たくさんの方々に文化、芸術の魅力をお伝えしています。平成29年度の募集概要は次の通りです。皆さまのご応募お待ちしております。

匠ギャラリー企画展

【応募資格】(以下のa~dの要件を全て満たす方)

- 伝統工芸・民芸品等の企画展示
- 営利目的でないもの
- プロとして制作されている方または団体
- 福岡県内で活動している方または団体(県外の方でも県内の方との共催であれば可)



※匠ギャラリーのご利用経験がない方は、出展内容の確認などが必要となりますので、ご応募前にお問い合わせください。

【展示内容等】

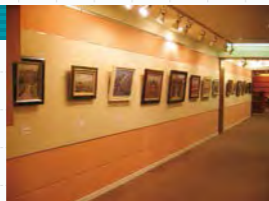
伝統工芸・民芸品の展示・販売、制作工程の説明や実演、制作体験等。展示時間中は常駐です。

【料金】 利用料無料。宣伝負担金 30,000円

ホワイエ作品展

【応募資格】(以下の要件のいずれかを満たす方)

- 公募展に入選以上の実績がある方
- 美術館やギャラリーで作品展を開催するか作品集を出版するなどの活動歴がある方
- 新聞や雑誌に取り上げられたことがある方



【展示内容】

絵画、手芸、切り絵、版画、グラフィックなど(壁面展示可能なもの)。交流ギャラリー(2階)と併用利用の場合は、壁面に加え展示台の設置による立体的な作品の展示も可能となります。

【料金】 利用料無料。宣伝負担金 20,000円

応募要領

利用期間：平成29年4月～平成30年3月の月曜日から日曜日までの7日間

利用時間：10:00～18:00

応募受付：10月1日(土)～10月31日(月)(郵送の場合は必着)

応募方法：所定の利用申込書と添付資料を窓口提出、もしくは郵送にてお申し込みください。

利用申込書は10月1日より文化観光情報ひろばにて配布のほか、アクロス福岡ホームページからダウンロードいただけます。

添付資料：【匠ギャラリー】

作品の写真、工房のパンフレット、過去の作品展写真・DMなど

【ホワイエ】

応募資格を証明する資料のコピー、作品の画像、ホームページURL(お持ちの方)

◆問い合わせ◆

文化観光情報ひろば
(tel.092-725-9100)

※主催者の希望または作成日の関係等により本誌に掲載していないイベントもあります。また諸事情により掲載内容が変更になることがあります。ご了承ください。
※本誌記事・写真・レイアウトなどの無断転載、複製、引用を固くお断りします。

第10回 アクロス福岡 楽器ふえすた2016

管楽器の祭典・開催

西日本最大級のスケールで贈る管楽器の BIG EVENT

管楽器展示即売会

アクロス福岡(B2F) イベントホール

3日間限定プラン **金利0%**
3回～12回払 無金利

9月 30日(土) 16:00～18:30
10月 1日(日) 10:00～20:00
10月 2日(日) 10:00～17:00

ピッコロ・フルート・オーボエ
バスーン・サクソフォン
クラリネット・トランペット
ホルン・トロンボーン
ユーフォニウム・チューバ
その他関連グッズなど

10周年記念特別企画

GOLD&GOLD
WIND INSTRUMENT
FAIR

華麗なる音色と永遠の輝き
ゴールド商品が一堂に集結!

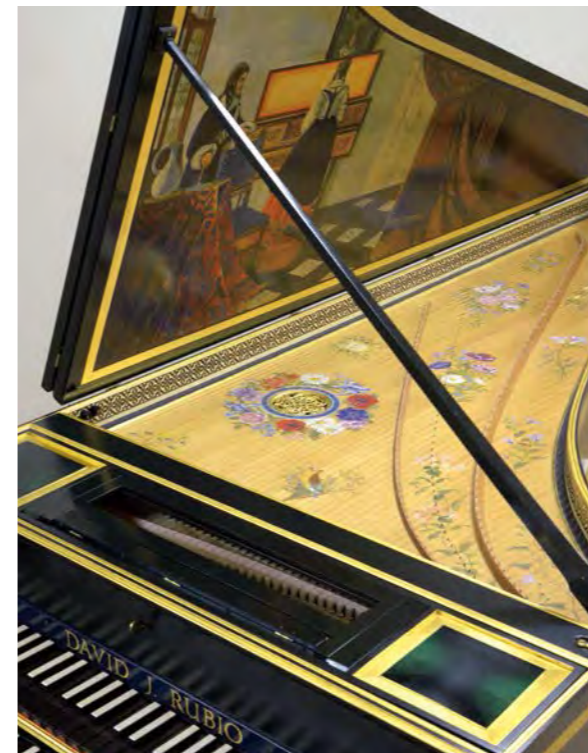
地下鉄赤坂駅3番出口より徒歩2分
・昭和通り沿い あいりん東口交差点

音楽といつも素直な関係でいたい

丸石楽器

〒810-0041 福岡市中央区大名2丁目10-24
営業時間 / 10:00～19:00(日・祭日10:00～18:00)
定休日 / 水曜日 FAX 092-761-8382
☎ **092-713-5303** (代)
e-mail cremona@mx21.tiki.ne.jp
http://www.cremona-gakki.com

#7 福岡シンフォニーホールの楽器たち 探検!アクロス福岡



百道から天神へ
受け継がれた
アクロスの
チェンバロ

いつも見ている建物だけど、実は意外と知らないことだらけ。そんな「アクロス福岡」の、一歩踏み込んだ“秘密”をご紹介します「探検!アクロス福岡」。第7回目は、「福岡シンフォニーホールの楽器たち」です。

アクロス福岡の福岡シンフォニーホールでは、一年を通してさまざまな催しが行われています。その中でも、クラシックのコンサートは定番のひとつ。オーケストラの楽器は演奏者による持ち込みがほとんどですが、持ち運べないピアノは、シンフォニーホールの楽器庫でしっかりと湿度管理されています。福岡シンフォニーホールでは、4台のグランドピアノ(スタインウェイ2台、ヤマハ1台、ベーゼンドルファー1台)を保有して

います。2台あるスタインウェイは、ピアノリストが事前に弾き比べをして、音色やタッチの合うほうがステージで使用されます。そのとなりで出番を待ち構えているのが、写真のチェンバロです。実はこのチェンバロ、福岡市早良区にある「も

ちバレス」にあったもの。現在はオーバーホールされ、福岡シンフォニーホールで活躍しています。弦をハンマーで叩いて音を出すピアノと異なり、チェンバロは弦をはじく仕組みのため、あまり大きな音は出ません。このため、一般家庭の室内規模で弾く楽器として使用されてきたので油絵が描かれていたりデザイン的にも個性があります。鍵盤の色がピアノと真逆であることも特徴のひとつです。

中世からチェンバロが誕生したルネサンス期、ヴィヴァルディやバッハらが活躍したバロック期までの音楽のことを「古楽」と呼びますが、その魅力を知ることができると「新・福岡古楽音楽祭」が10月に開催されます。特にチェンバロは福岡シンフォニーホールでお目見えする機会が少ないので、ぜひその音色に耳を傾けて来てみてください。(取材文 後藤暢子)

知っていますか?ピアノの正式名称

ピアノの正式名称はイタリア語の「グラヴィチェンバロ・コル・ピアノ・エ・フォルテ」からきているそうです。その名の通り、小さな音(ピアノ)から大きな音(フォルテ)まで、繊細で強弱のついた音色を奏でられる鍵盤(グラヴィ)楽器であることからこの名前になったと言われています。

聴いてみよう!チェンバロの音色

10月8日(土)から3日間開催する「新・福岡古楽音楽祭」では、美しいチェンバロの音色を間近でお楽しみいただけます。チケットは好評発売中です。また、古楽音楽祭の雰囲気を少し早めに感じてみたいという方には、無料で楽しめる「フロアコンサートvol.423特別編」(10/6・12:15～)がおおすすめです。ぜひお気軽にお越しください!(詳細はP.2,8～9をご覧ください)

新・福岡古楽音楽祭実行委員会 092-725-9327
http://www.kogaku.net

